

(十三丁ウゝ十四丁オ)

- ① 神よび給ふと見れば、一さいの事じやうじゆして、おふいにとくを得るなり、
- ② 又神をまつると見るもよし、
- ③ 又神のやしろへまいると見るもよし、
- ④ あやしきばけものを見れば、利を得る事ありて大によし、
- ⑤ 鬼をにとたゝかふものは、いのちながくして仕あわせよし、
- ⑥ また、たゝかいて勝かつは、いたつてよし、
- ⑦ まくるとミれば、あしくやまひをうくるなり、
- ⑧ 城しろがまへひろく大なると見れば、諸事しよじこゝろにおもふにまかせ大吉なるべし、
- ⑨ 城しろの中へはいるとミれば、立身出世しつしんしゆつせするしるしなり、
- ⑩ 城をいづるとミれば、仕合しあわせあしくつゝしむべし、
- ⑪ 城しろの色青くミゆるハ、よろこび事あり、
- ⑫ 山のうへにて人にあふと見れば、よろづさいわいありて大によし、
- ⑬ 高山にあかきいろあると見れば、金銀をまふけ仕合しあわせよし、
- ⑭ わが身仙人みせんじんになるとミれば、福ふくとく来りて大吉事なり、
- ⑮ 仙女せんじよきたりて桃の枝ももえだをたもふと見れば、いのちながくさいわひありておふきによし、
- ⑯ 仙人聖人せんじんせいじんなど家にきたると見れば、吉相きつさうなり、